



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社幸楽苑 上場取引所 東
コード番号 7554 URL <https://www.kourakuen.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 芳賀 正彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役財務経理部長（氏名） 近藤 博之（TEL）024-943-3351
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	7,588	9.8	324	22.2	330	23.4	175	30.3
2026年3月期第1四半期	6,909	—	265	—	267	—	134	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.20	—
2026年3月期第1四半期	7.06	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	12,372	7,181	57.6
2026年3月期	13,449	7,189	53.1

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 7,122百万円 2026年3月期 7,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	15,500	7.3	760	0.6	760	0.7	585	0.0	30.61
通期	31,500	7.1	1,600	5.6	1,600	4.7	1,250	8.2	65.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	20,832,411株	2026年3月期	20,832,411株
2027年3月期1Q	1,720,592株	2026年3月期	1,720,592株
2027年3月期1Q	19,111,849株	2026年3月期1Q	19,109,099株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	8
(1) 販売の状況	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間(2026年4月1日から2026年6月30日まで)におけるわが国の経済は、春闘において平均賃上げ額が3年連続5%を超過し、すべての都道府県における最低賃金が1,000円を超過したことなどにより、実質賃金が5カ月連続で前年同月を上回るなど、雇用・所得環境の改善傾向は長期にわたり継続しております。一方、不安定なイラン情勢に起因する原油・ナフサ供給不足とそれに伴う価格上昇による日本及び世界経済の低迷、円安の更なる進行など、わが国を取り巻く景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、所得・雇用環境が改善し、訪日外国人は中国政府による自国民への渡航自粛呼びかけによる減少分を、他の国からの増加で補い、訪日外国人全体では微減に留まりました。これらにより外食産業全体では、売上高・客数・客単価いずれも前年同月を上回る状況が継続しております。一方、継続的な物価上昇による光熱費・食材価格の値上げ継続、ナフサ不足による店舗建築資材価格の上昇、人手不足に伴う人件費関連コストの上昇は続いており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社は当事業年度(2027年3月期)のテーマ「再生から進化へ」を掲げ、再度500店舗展開に向けた事業環境整備に着手いたします。店舗展開は東北・関東の既存商圏へのドミナント出店強化を行います。また、これまでのロードサイド出店に加えて「駅前出店」にも取り組んでまいります。生産体制においては、低価格で美味しい商品を提供する基盤となる新工場建設の準備を店舗拡大に歩調を合わせ推進し、企業価値向上に取り組んでまいります。

当第1四半期の状況は、季節限定商品として定番冷麺3種(冷し中華、冷し担担麺、冷し麻辣担担麺)に新商品「冷し味噌らーめん」を加えた4種類を販売しました。会津名物『馬刺しの辛みそ』の唐辛子とニンニクをイメージしたオリジナル商品「会津レッド」を期間限定で販売し好評をいただいております。店舗展開においては新規出店1店舗、店舗リニューアル9店舗を実施しました。また、3月31日にオープンしました安積店において、幸楽苑として初の「ZEBReady(ゼブ・レディ)※」の認証を取得しました。環境負荷の少ない次世代型標準店舗として位置付けてまいります。※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称)

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高7,588百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益324百万円(前年同期比22.2%増)、経常利益330百万円(前年同期比23.4%増)、四半期純利益は175百万円(前年同期比30.3%増)となりました。

当第1四半期会計期間末の店舗数は、367店舗となりました。店舗展開は、国内直営店346店舗、国内外フランチャイズ21店舗(国内12店舗、海外9店舗)となりました。

なお、「ラーメン事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1,271百万円減少し、4,691百万円となりました。これは、現金及び預金が1,288百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて193百万円増加し、7,681百万円となりました。これは、建物が127百万円、有形固定資産「その他」に含まれる工具、器具及び備品が40百万円、建設仮勘定が77百万円増加し、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産が87百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,077百万円減少し、12,372百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて1,058百万円減少し、3,787百万円となりました。これは、短期借入金が980百万円、未払法人税等が229百万円、賞与引当金が159百万円減少し、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等が129百万円、未払金が98百万円、預り金が88百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて10百万円減少し、1,403百万円となりました。これは、長期借入金が8百万円、退職給付引当金が15百万円減少し、固定負債「その他」に含まれるリース債務が16百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1,069百万円減少し、5,190百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、7,181百万円となりました。これは、利益剰余金から配当として191百万円支出し、当期純利益175百万円を計上したことにより、15百万円の減少となったことなどによります。また、今後の資本政策の機動性、柔軟性を確保し、分配可能額の充実を図るため、資本準備金2,383百万円をその他資本剰余金へ振り替えております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想は、2026年5月13日公表の業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,673,146	3,384,554
売掛金	751,106	716,036
棚卸資産	289,642	302,366
その他	248,589	288,405
流動資産合計	5,962,485	4,691,363
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,467,972	2,595,316
土地	1,245,936	1,245,936
リース資産（純額）	542,145	544,352
その他（純額）	1,424,007	1,576,710
有形固定資産合計	5,680,062	5,962,315
無形固定資産	98,722	94,583
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,134,544	1,134,521
その他	577,864	493,438
貸倒引当金	△3,732	△3,732
投資その他の資産合計	1,708,677	1,624,227
固定資産合計	7,487,462	7,681,126
資産合計	13,449,948	12,372,489
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,040,032	1,021,331
短期借入金	980,000	—
1年内返済予定の長期借入金	99,960	83,420
未払費用	1,065,164	1,091,342
未払法人税等	308,984	79,319
賞与引当金	324,584	165,416
転貸損失引当金	1,307	522
ポイント引当金	29,143	29,143
その他	997,329	1,317,168
流動負債合計	4,846,507	3,787,663
固定負債		
長期借入金	8,450	—
退職給付引当金	142,565	127,304
資産除去債務	980,073	976,479
その他	282,878	299,473
固定負債合計	1,413,967	1,403,257
負債合計	6,260,474	5,190,921

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,988,077	4,988,077
資本剰余金		
資本準備金	3,351,532	968,071
その他資本剰余金	—	2,383,460
資本剰余金合計	3,351,532	3,351,532
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,155,462	1,140,084
利益剰余金合計	1,155,462	1,140,084
自己株式	△2,380,515	△2,380,515
株主資本合計	7,114,555	7,099,177
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,481	23,667
評価・換算差額等合計	22,481	23,667
新株予約権	52,436	58,723
純資産合計	7,189,473	7,181,568
負債純資産合計	13,449,948	12,372,489

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,909,743	7,588,002
売上原価	2,103,676	2,401,921
売上総利益	4,806,066	5,186,080
販売費及び一般管理費	4,540,193	4,861,219
営業利益	265,873	324,860
営業外収益		
受取利息	246	304
固定資産賃貸料	28,438	26,905
その他	10,702	11,137
営業外収益合計	39,387	38,346
営業外費用		
支払利息	3,431	2,079
固定資産賃貸費用	24,290	25,317
その他	9,837	5,578
営業外費用合計	37,559	32,975
経常利益	267,700	330,231
特別利益		
固定資産売却益	300	—
特別利益合計	300	—
特別損失		
固定資産廃棄損	15,196	19,597
減損損失	—	10,432
その他	3,050	—
特別損失合計	18,246	30,030
税引前四半期純利益	249,754	300,201
法人税、住民税及び事業税	34,030	37,952
法人税等調整額	80,837	86,509
法人税等合計	114,867	124,461
四半期純利益	134,886	175,740

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、「ラーメン事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(資本準備金の額の減少)

当社は、2026年6月18日開催の第56期定時株主総会において、「資本準備金の額の減少の件」について決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 資本準備金の額の減少の目的

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少させ、その他資本剰余金に振り替えることにより、今後の資本政策の機動性、柔軟性を確保するとともに、分配可能額の充実を図るものであります。

2. 資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少すべき資本準備金の額

資本準備金の額3,351,532,078円を2,383,460,691円減少させて、968,071,387円としました。

(2) 資本準備金の額の減少の方法

資本準備金の額を減少させ、その他資本剰余金へ振り替えております。

3. 資本準備金の額の減少の日程

(1) 取締役会決議日	2026年2月10日
(2) 債権者異議申述 公告日	2026年3月2日
(3) 債権者異議申述 最終期日	2026年4月3日
(4) 株主総会決議日	2026年6月18日
(5) 効力発生日	2026年6月19日

4. その他

本件は、貸借対照表の純資産の部における勘定科目内の組替であり、当社の業績に与える影響はありません。また、当社の純資産額、発行済株式総数、1株当たりの純資産額に変更はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	167,275千円	185,800千円

3. その他

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

期 別		前第1四半期 自 2025年4月1日 至 2025年6月30日		当第1四半期 自 2026年4月1日 至 2026年6月30日		(参考) 前期 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
品 目		売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
			%		%		%
直 営 店 売 上	らーめん類	3,925,692	56.8	4,240,701	55.9	16,237,632	55.2
	セット類	2,076,964	30.1	2,461,286	32.4	9,282,276	31.6
	ギョーザ	218,863	3.2	221,647	2.9	977,441	3.3
	ごはん類	107,531	1.6	106,274	1.4	436,348	1.5
	ドリンク類	152,503	2.2	178,145	2.4	631,112	2.2
	その他	319,357	4.6	263,078	3.5	1,395,401	4.8
	計	6,800,912	98.5	7,471,134	98.5	28,960,213	98.6
F C店等材料売上		86,654	1.2	97,588	1.3	361,839	1.2
ロイヤリティ収入		13,163	0.2	15,170	0.2	57,053	0.2
そ の 他		9,013	0.1	4,109	0.0	25,551	0.0
合 計		6,909,743	100.0	7,588,002	100.0	29,404,657	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

期 別	前第1四半期 自 2025年4月1日 至 2025年6月30日			当第1四半期 自 2026年4月1日 至 2026年6月30日			(参考) 前期 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日		
	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数
地域別		%	店		%	店		%	店
東北	2,705,414	39.8	132	3,032,399	40.6	134	11,600,375	40.1	134
関東	3,400,413	50.0	177	3,667,127	49.1	175	14,402,016	49.7	175
東海	173,223	2.5	9	188,079	2.5	9	737,108	2.5	9
北陸甲信越	521,860	7.7	28	583,527	7.8	28	2,220,712	7.7	28
計	6,800,912	100.0	346	7,471,134	100.0	346	28,960,213	100.0	346

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。